

③こころの絆創膏について

うつ病は、生涯を通じて15人に1人がかかるとも言われており、誰もがかかる可能性のある身近な病気です。適切な治療で十分回復する病気である一方で、自殺にも深い関連があると言われており、病気の理解と周囲のサポートが大切になります。

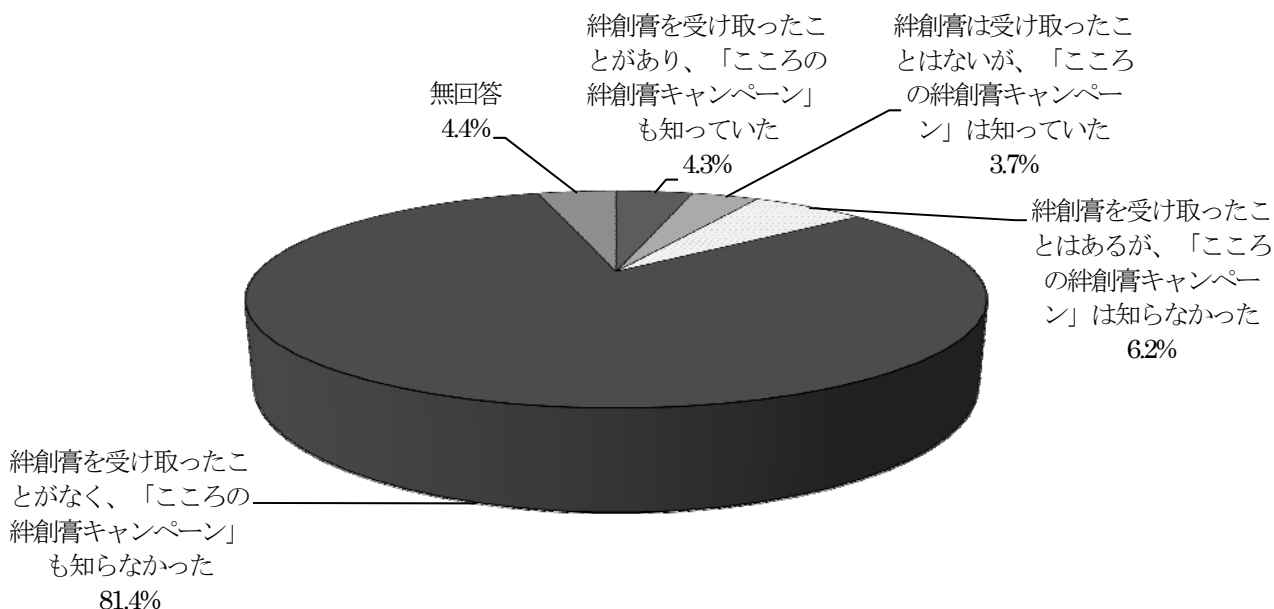
今回のアンケートは、うつ病をはじめとするこころの不調に気づき、様々な悩みの解決につなげるための取り組みである「こころの絆創膏」についておたずねし、今後の効果的な情報提供を行うための参考とさせていただくものです。

※各図表の「N」は、回答者総数を表しています。

名古屋市では、うつ病の症状や相談機関を印刷した「こころの絆創膏」(送付させていただいた封筒に実物を同封させていただきました)を市内の主要駅周辺等で配布する「こころの絆創膏キャンペーン」を実施しています。このキャンペーンは、絆創膏を受け取られたご本人や周囲の方へ、こころの不調の気づきや見守りを促し、様々な悩みを抱えた方を相談機関につなげることを目的としています。

問26 あなたは、「こころの絆創膏^{ばんそうこう}キャンペーン」を知っていましたか。(○は**1つだけ**)

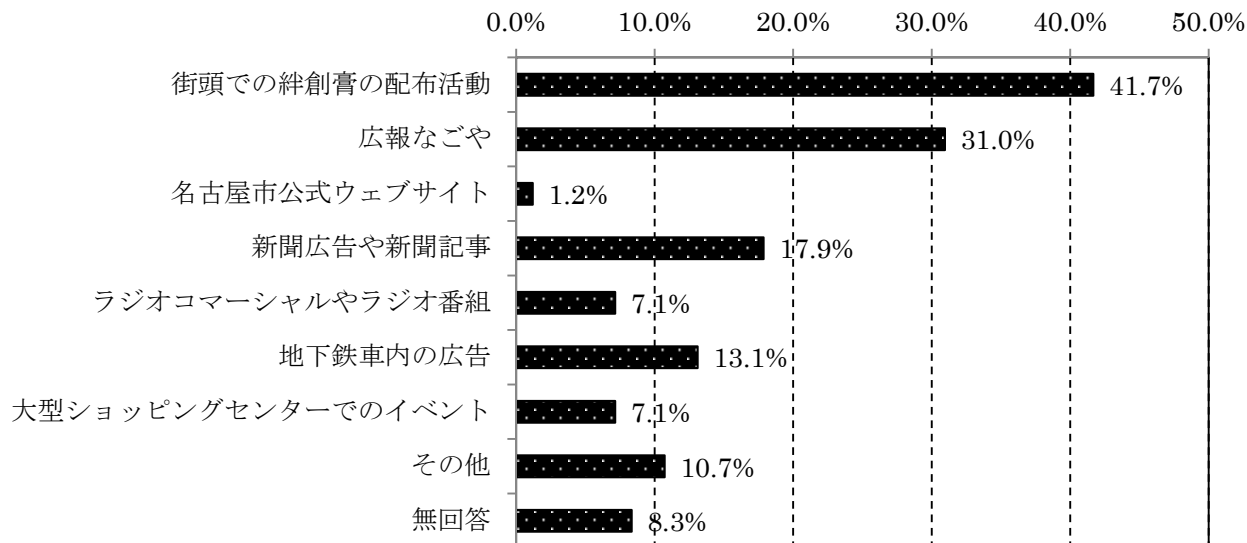
N=1,047



《問26で1、2と答えた方（「こころの絆創膏キャンペーン」を知っている方）におたずねします》

問 27 あなたは、「こころの絆創膏キャンペーン」をどこで知りましたか。（○はいくつでも）

N=84



《すべての方におたずねします。》

名古屋市では、悩んでいる方が自ら適切な窓口を探していただけるよう、多重債務、経営・事業不振、病気の悩み、職場の人間関係、男女関係、いじめの悩みなどの様々な相談機関の情報や、うつ病のサインと対応、精神科医療に関する問答などを掲載した、ウェブサイト・モバイルサイト「こころの絆創膏」を開設しています。

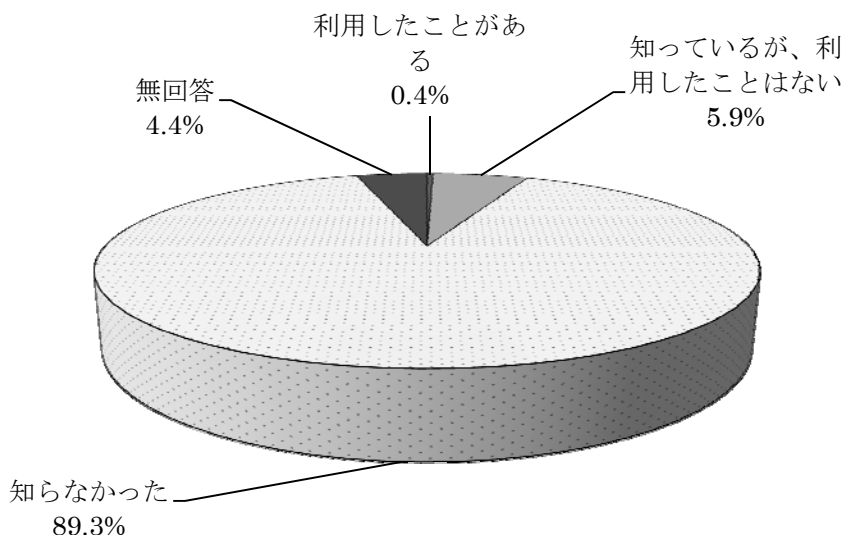
それぞれのホームページは以下のアドレスでご覧いただけます。

ウェブサイト <http://www.inochi-akari.city.nagoya.jp/> (パソコン用)

モバイルサイト <http://www.inochi-akari.city.nagoya.jp/m/> (携帯用)

問28 あなたは、ウェブサイト・モバイルサイト「こころの絆創膏」を利用したことがありますか。（○は1つだけ）

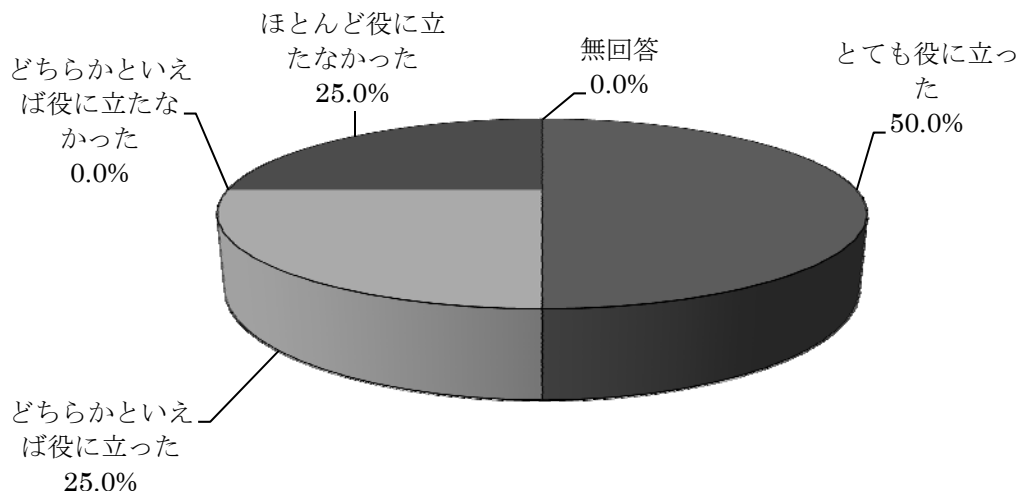
N=1,047



《問28で1と答えた方（ウェブサイト・モバイルサイト「こころの絆創膏」を利用したことがある方）におうかがいします》

問29 ウェブサイトやモバイルサイトを利用した感想をお聞かせください。（○は1つだけ）

N=4



《すべての方におたずねします。》

問30 自分や周りの方のこころの不調に気づき、適切な窓口で相談できるようにしていくために、うつ病についての知識や相談機関の情報をお伝えする方法として、今後、力を入れるとよいと思う広報手段（媒体）は何ですか。（○は3つまで）

N=1,047

